

「日本版BPSDケアプログラム」 (平成30年度～)

○東京都と(公財)東京都医学総合研究所(西田淳志社会健康医学研究センター長)が協働で開発。

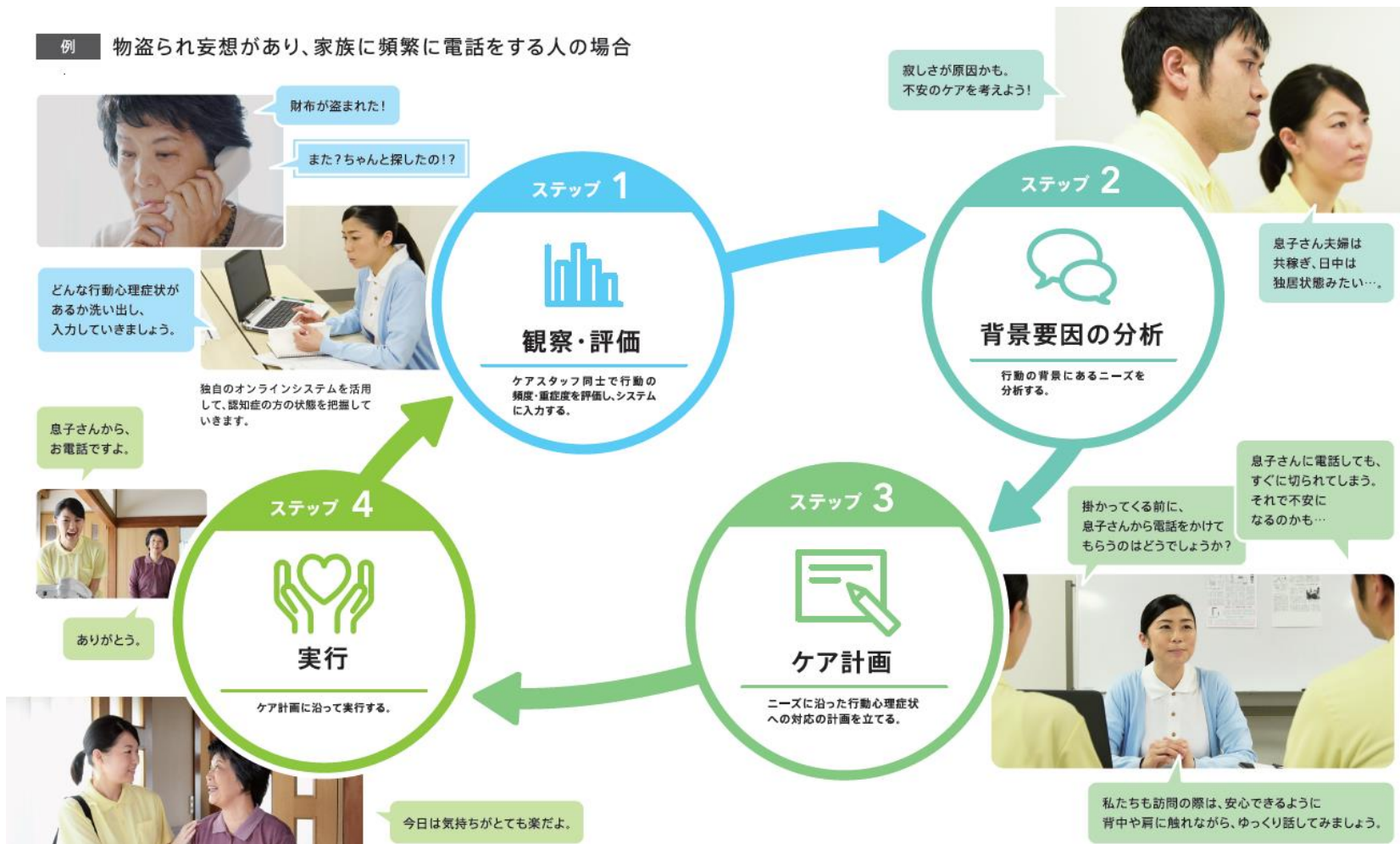
○BPSD(行動・心理症状)は不安や焦り、恐怖等から生じることも多い。

問題行動ではなく、**周囲に自身のニーズを伝えるメッセージ**としてとらえることが重要。

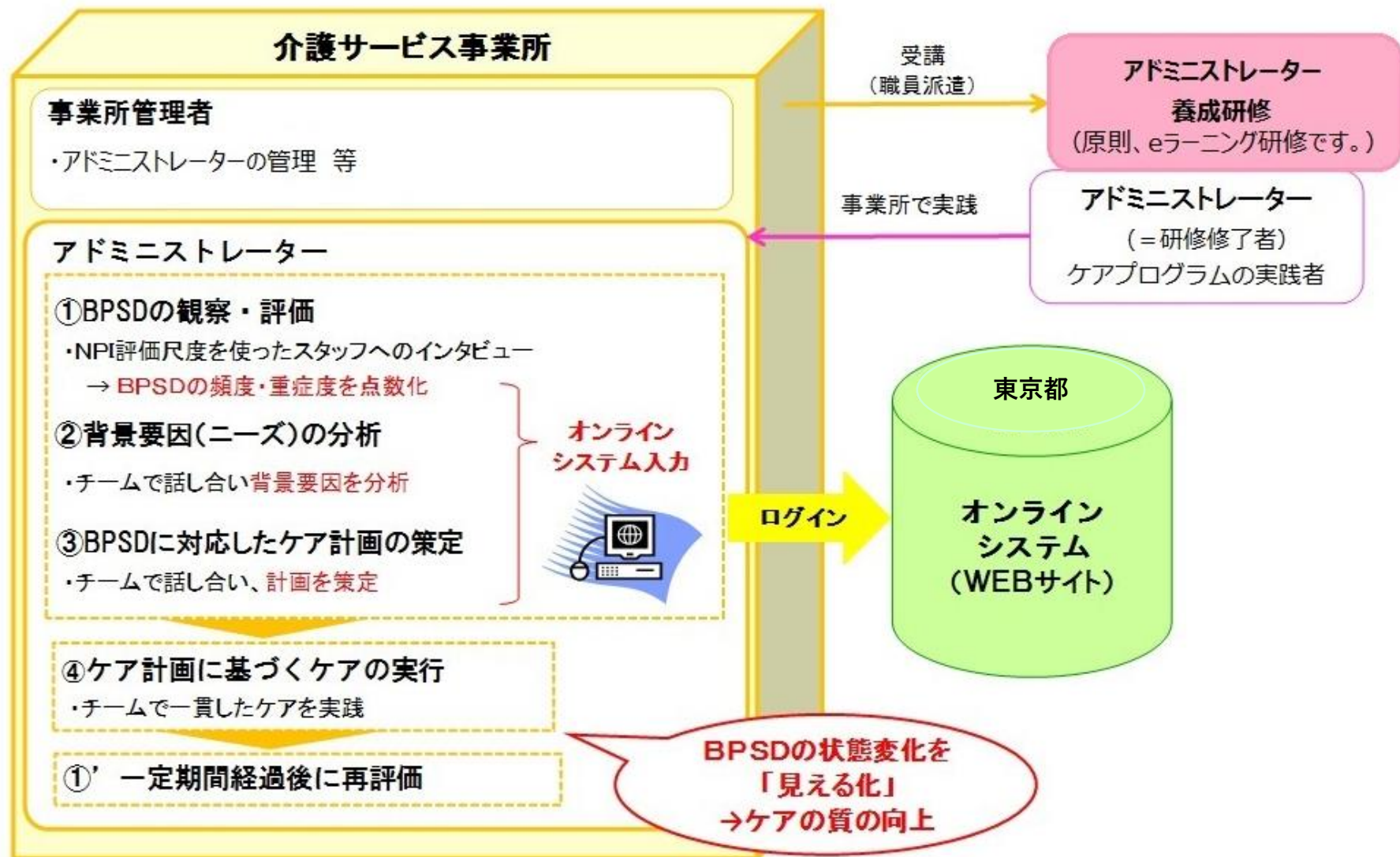
○ICT(情報通信技術)を活用して、介護従事者等が認知症のある人の隠れたニーズを発見し、適切に対応できるよう支援。

○ケアスタッフがチームで話し合い、以下の4ステップを繰り返し継続しながら、認知症ケアの質の向上を図る。

例 物盗られ妄想があり、家族に頻繁に電話をする人の場合

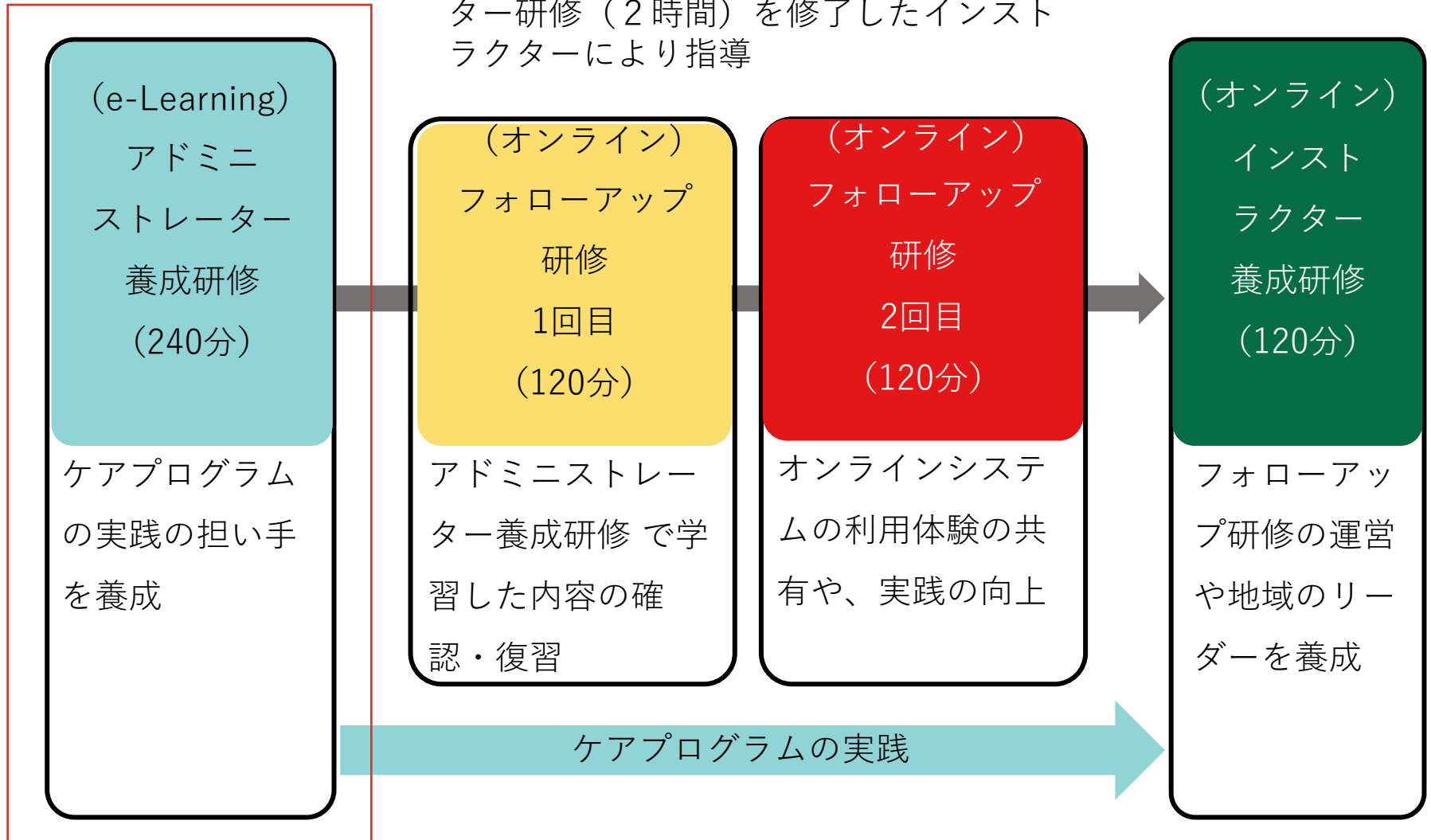


「日本版BPSDケアプログラム」のシステム



「日本版BPSDケアプログラム」の人材養成課程

*フォローアップ研修は、インストラクター研修（2時間）を修了したインストラクターにより指導



≡認知症チームケア推進加算要件
「認知症チームケア推進研修」